

平成22年度 授業公開報告

教育学部教務委員会では、本年度のFDとして、以下の通り、授業公開を企画しました。授業公開は、新しい試みとして、多くの先生方にご参加いただけるよう、通常の開講時限を木曜日の4限、5限に移し、各系から1つずつ評価の高い先生方の授業を公開し、終了後カンファレンスを実施しました。

記

日 時：平成22年12月2日（木）4限、5限

趣 旨：優れた授業実践を参観することにより、今後の授業改善のヒントを得る

日程表：

授 業 公 開						カ ン ファ レ ン ス		
系 名	教員氏名	授 業 日	授業時間	授業科目	授業場所	カンファレンスの時間	カンファレンスの場所	カンファレンス担当教員
教育系	上岡 一世	12月2日(木)	5時間目	知的障害児教育実践論	102教室	同日授業終了後	102教室	高橋信雄 nobuo@ed.ehime-u.ac.jp
文 系	池野 修	12月2日(木)	5時間目	英語科教科教育法IV	202教室	同日授業終了後	202教室	竹永雄一 takenaga@ed.ehime-u.ac.jp
理 系	吉村 直道	12月2日(木)	4時間目	数学科教育法II	402教室	同日授業終了後	203教室	河村泰之 kawamura@ed.ehime-u.ac.jp
芸体系	杉林 英彦	12月2日(木)	5時間目	初等図画工作	402教室	同日授業終了後	402教室	東慶太郎 higashi@ed.ehime-u.ac.jp

各授業とも 10 名前後の参加者があり、授業終了後のカンファレンスも活発に討議がなされた。

感想の一部：

- ・ 授業を担当している者としては、今回の授業は、その方法・内容の面から大変参考になる有意義なものであった。
- ・ 教育の原点、重点が改めて実感できた。
- ・ 教師の「技術力」と共に、教師の「資質」が、授業成否の鍵となる。
- ・ 模擬授業、着割り演技を通して、グループエンカウンターの必要性を確認できた。
- ・ 学生の評価の高い授業のみを公開したのでよい。
- ・ 今回のような良い授業を見させてもらって、参考にしたい。
- ・ 今回のような形態でよいと思うが、同じ時間帯ではなく、分散した方が参加しやすいように思った。